

HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



# 「障」ちゃん



NO.254

## 冒頭の一言

武田 博

皆さんお元気ですか？今年の夏は暑かったですね。

本当に本当に暑かったですね。

そんな時はクーラーをガンガンにかけて家におった方がいいと思いました。

今も暑いんだけど 9 月なのにまだ暑い日が続くんだなあ。皆さん気づけて下さい。熱中症には。

### —もくじ—

冒頭の一言 … 1	銭湯での戦いは 日下正秀… 2-5
前項の日下さんが 八木勝自… 6-7	Penko … 8-9
オンライン飲み会 … 10-11	運営会議報告 … 12
ありがとうコーナー … 15	今後の予定 … 13-14

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
HSK 毎月二二回(一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日)発行

## 銭湯での戦い（戦闘）はどうなった

日下 正秀

昨年の末ごろか今年の始めにかけて文福会員の〇さんが富山市内の銭湯や射水市の銭湯に行った時に、他の利用者とおぼしき何人かの人から「貴方達のような人たちは施設の風呂に入ればいいのに」といったことを2, 3度続けて言われたという報告を受けました。この事について文福として銭湯組合への話し合いの申し入れをして、その時の要望書を障ちゃんニュース紙上で公開しました。今のところ、富山市の銭湯組合の代表者とは面会出来ないことから市の銭湯組合の見解は聞いていません。最近2, 3の人から銭湯組合とのことは一体どうなったのか尋ねられました。ここでは射水市での事を報告します。

〇さんからの報告を受けて一週間ほど経ってから、その銭湯に行ってきました。大変大きな銭湯で、駐車場が3カ所に分かれていたり、午前中から駐車場に満杯に近い車が止まっていました。大勢の宴会が出来る大広間、大浴場まであるようなところで、昔は観光旅館でした。車椅子で玄関から入ったところ、受付のカウンターにいた従業員が車椅子で通った後を、さも汚れたと言わんばかりに床を拭きまくられ、ちょっと嫌な気分になりました。「責任者を呼んでくれ」と言っても声がかすれてなかなか通じません。介護者が業を煮やして「差別的対応をとられたと聞いたので調べにきた」と言ったところ、態度がころっと変わりました。話ができる責任者がいなかったのも、連絡先を知らせたその足で射水市役所に向かいました。障碍福祉課の担当者に事の仔細を説明して、その銭湯と被害を被った私たちとの話し合う場を設定し、その場に市役所が立ち会うことを要請しました。夕方私の所に射水市役所から電話があり、問題の銭湯と話したところ、お客を差別することはまったく考えてもいないし、問題があつたらどんどん言って欲しい、障碍者の人も利用してもらって結構と言ってもらえ、市役所の方も番台の所に障碍者差別禁止の啓発パンフレットやビラ等を置いたり貼り出したりして、他のお客への人権意識の向上を図っていきたいという返事が返ってきました。当該銭湯からも行った当日の夜に支配人から電話があり、不快感をあたえたことに

対する謝罪とこれからもどんどん利用してくださいという内容だった。ただ言われたのが、乳幼児の単独利用とおむつ使用の方は利用を控えてもらいたいという話でした。でも、乳幼児の銭湯の単独利用は考えられないし、おむつにしてもおむつを利用している人が汚れたままの状態です。銭湯に来ることはないのではないかと。この事については色々のご意見のある方もおられると思いますし、文福内でコロナのどさくさもあり、話し合いはまだできていませんでした。私はここで昔からいやというほど自らも体験し、多くの障害者達が経験し尽くしてきた、入浴拒否などといった差別問題が発生したときに、それを解決できるのはその被害を被った障害当事者の存在が不可欠であるということに、そのとき思いが至りませんでした。私も含めて、私の知る範囲内で日常的に銭湯を利用している、介護が必要な障害者を〇さん以外知らないといった現状になっています。

その間、富山市の銭湯を〇さんは問題なく利用できていたことから、射水市の銭湯利用はかなり間が空きました。

9月12日に、〇さんはヘルパー2名とその銭湯に向かいました。〇さんのヘルパーにその一緒に行った時の報告を聞きました。

その日、以前のように券売機で入浴券を買い、フロントで受付をしました。その際、係員から「オムツをしている人はダメ、車いすのまま洗い場に入れない」と言われましたが、「オムツはしていない、車いすのままでは浴槽には入らない」と答えました。

フロントで受付している時に、中年の女性客が、「あんたらはオムツしていないと言っているけど、他の銭湯でおむつしているのを見かけたことがある」と言いました。フロントの係りは、従業員に風呂場の様子を見回らせるからと言いました。

女湯浴場の脱衣所に向かう時に、車いすをここ(フロント)に置いていくように言われました。意味が分からなかったし、エレベータに乗らなければ行けないので、と言ってそのまま脱衣所に向かいました。(今までは言われたことは無く、玄関で車いすのタイヤを拭かせて下さいと言って、従業員がタイヤを拭いていました。)

いつもは脱衣所まで車いすで入っていましたが、今回は脱衣所の入口で車

いすを降り、脱衣所の長いすにOさんに座ってもらって、着ものを脱ぎ、浴室に入りました。車いすは脱衣所外の窓ぎわに置きました。脱衣所のロッカーの鍵をもらい忘れたと思いヘルパーがフロントに戻った際、フロントの人に、市役所と話し合っ入れてるようになっていて聞いてきたんだけど、何故車いすを置いて行けと言われたのか、この間の経緯は知らないのか尋ねたところ、「自分はその場にいた。啓発のポスターはここにおいてある。でも、一般の人の車イス障害者への意識はなかなか変わらない。」車イスの人はダメなんですか？と聞くと、「いやマヒが」と言いかけたので、マヒがある人はダメなんですか？と言うと、「このコロナのご時世だから、障害者にうつされたくないと言う人の意識は変わらない…」えっ!!、障害者が感染源?!。いつの時代の話?そんな偏見が変わらないからこそその変えるためのポスター、条例ではないのか。

洗い場で体を洗っていると、フロントでオムツしていると言ったおばさんがわざわざ近づいてきて、「浴槽でおしっこされたら困る。」と言い出し、してないと言ったら、「何でそんなこと言える。」自分で生活しておられて、トイレでおしっこをしている。中でおしっこすることは絶対はない。といったやりとりの後、立ち去り際に「気持ち悪い」と捨てぜりふを言って戻って来ました。自分が洗っている場所に行って、まわりの人に、「絶対なんてありえない」と言いふらしていました。そのあと頭を洗っていると見回りの銭湯の従業員がOさんを見て、何か体にタオルか何か掛けるように言いました。Oさんは舌の動きに障害があって、急に水を少しでも被るとむせて誤嚥しやすいので、座ってうつぶせのでのシャワーではなく横になって洗い桶を使って仰向けで理髪店での様に頭を洗っているのです。子供の時から股関節脱臼で横たわって頭を洗うのはOさんにとってごく自然な形であり、その姿を隠せと言われたのです。

Oさんは耳が遠く、喋ることがほとんどできません。人との会話は身振り手振りのジェスチャーを交えた全体的な状況の雰囲気での他の人とコミュニケーションをとります。聞こえなくても喋っている人間の表情などで大体の内容は分かるし、ヘルパーからも詳しく聞きました。洗い場で横たわるのは自分の自然な状態なのに、自分にとって安全な洗い方をしているだけなのに、おしっこを垂れ流しているとか隠せとか言われるのはつらく腹立たしい。脳

性マヒである私にとって銭湯でしかほぐれない緊張・凝り・冷えがあり、週一の銭湯通いは私の一番のリラックスタイムなのだ!!と叫びたい気持ちになったのでは。

銭湯の問題は40年50年昔からずっとありました。古くは神奈川での障害者入浴お断りの銭湯への抗議行動があり、富山からも参加した障害者がいました。富山でも同じような入浴拒否がありました。銭湯の問題に限ったことではありませんが、障害者差別の問題が起こったとき、行政的な手続きや取り決めをしたり、そのことを行政などを交えた形でやれば、かなりの部分が解決されうまくいくのではないかと、思いがちです。実際行政を巻き込むことは間違いではなく、必要なこととは思いますが。しかし差別の問題は役所が介入しても解決はしません。市役所を巻き込んだら結構問題は収まるのではないかなどと勘違いも甚だしかったと反省しています。昔は銭湯の経営者が障害者を入浴拒否などで排除していたのですが、この文章に書いたように、今現在は銭湯の経営者側がたとえ事を荒立てたく無いと思っても一般客の中に強い偏見や排除の意思を表す者が出てきて、周りに毒を撒き散らしはじめています。コロナ禍の世の中で自粛警察がはびこりコロナウィルス以上に恐れなければならない状態の世の中に今私たち障害者はいます。この問題の打開策はコロナ対策と同じです。油断をせずに正しく恐れる、その上で堂々と生活していくしかないとは私は考えます。

## 前項の日下さんが書いた

### 〇さんが銭湯に行った時の文章を読んで思ったこと

八木勝自

私のこの文章の前の項で、我々の文福の障害者部会部長日下さんが重度障害者で介護の必要な〇さん（女性）が銭湯で受けた差別のことを書いていました。それを読んで私の若い頃とは随分違っていたような複雑な気持ちを持ってしまいました。

日下さんが書いているように1960年代70年代などでも、重度障害者の入浴お断りの銭湯が出て大きな問題になり、私も若い頃は地元の銭湯に介護人1人をつけて行っていました。その頃はこういった形だったかという、その頃は銭湯も多くて車イスで行ける距離の銭湯が2～3件ありました。で、主に私は住宅街の銭湯と少し時間が夜遅くなると深夜までやっている夜の繁華街に近い銭湯に行っていました。

まず深夜までやっている繁華街の銭湯は、水商売の人など多くて私が介護をつけて床に座って介護者に洗ってもらったり介護者に抱えられて湯船につかったりしていても時々「何か手伝おうか」と言って声をかけてくれる人もいました。ところが、住宅街の銭湯に介護者の都合で、行く場合は例えば、毎週水曜日の夜7時から決まって定期的に行くようになると、初めの1回目は他のお客さんで満員だったのが3～4回行くとそのお客さんが半分になってしまい、6～7回目で細かくは覚えていないけれど、なんとびっくり！！その私が行く時間帯は私と介護者の2人だけになってしまいました。そのことを見て私はびっくりして銭湯の行き先を毎回変えて行くようにしました。でも住宅街の番台の人は、お客が私と介護者の2人になっても、ごく普通にお金を取ってにこやかに番台の正面にある小型のTVを見ていました。今から考えると、その番台の人はおそらく小中高などの学校時代や社会に出ても障害者と付き合ったことがある人だなと今でも私は思っています。

当時のことと比べて、〇さんが受けた差別と私が受けた差別は全く現象的には逆です。私が受けた差別は番台の人や私や介護人も含めた直接の差別ではなく、その時間だけ銭湯に来なくなるという「無言の差別」です。一方、〇さんの受けた差別は〇さんが行っている銭湯は確かに大きいけれど、富山より少し田舎っぽい場所にあるのではないかと私は思って、コロナのことで人々が不安になったりしている人たちで、直接障害者や介助者に言ってくるのだと私は思ってしまいました。どちらも悲惨な障害者差別だと言うことは確かです。けれどここで考えてほしいのは〇さんは身体の障害で床に直に仰向けに寝そべて腰かけを首あたりに入れ

て頭などを洗っているものだと思います。(日下さんが書いた文章より想像すれば)この場合、Oさんの知っている人や障害者を知っている人はあまりなんとも思わなく、むしろ嫌みではない親しみを込めた微笑みで見たりしていると思います。ところが、Oさんを知ってない人たちや障害者を知らない、付き合ったことがない人はOさんのそういった状態を一言で言えば、異常と見てそのようなことを抹消したいと思うのです。

さて、この違いはどこから生まれるのかと言うと、Oさんも付き合ったことがあったり、知っていたり、障害者のことを知っていたり、また学校や職場で障害者のことを見かけたりしている人と知らない人との違いだと思います。それで私は日下さんが書いているその場で人から言われたという、Oさんはおしっこを漏らしたりする障害者ではないのに勝手におしっこを垂れ流すとか言われるのは、全くOさんのことを知らない人たちの虐待だと思っています。

そしてこれも私の場合は風邪の後遺症で若い頃はこれまで書いたように銭湯へ行ってきましたが、膀胱に管を通してあるので場合によっては漏れることがあったり(きちっと処理していればおしっこも漏れない場合もあります。ほとんどの膀胱に管を入れている障害者はそうです。)座位姿勢ができなくなったりして直接床に寝て身体を洗ったりしなきゃいけないので、それもなんだか私にとっては床も冷たくしんどくて嫌な思いをして内風呂のお湯をかけたりシャワーで身体に石けんをつけて洗ったりをシャワーチェアに乗ってやっています。勿論私も銭湯を利用したくて、せめて銭湯に、小さな車がついて移動できるシャワーチェアがあれば利用したいなと思っている次第です。それは高齢社会などに高齢者はデイサービスや施設で入浴、家に機材を持ち込んでして高齢者だって各銭湯に1~2台シャワーチェアがあれば、広くて暖かくてのんびりした普通の、自分の好きな銭湯に行きたいという人はかなり大勢いるのではないかと考えています。

富山県は特に気候がムシムシした湿気が多いところなので銭湯へ行って、心も身体も晴れ晴れとした気持ちにならなければ血行が悪くなって健康の面でも死活問題だと思っています。そういったことを多くの人たちや行政の人たちと考えると実行しなきゃいけない時だなと思っています。昔からその差別形態は変わっていきなく、やはり多くの人たちが障害者を知ったり付き合っていく関係を小さい頃から作っていかなくては障害者問題や高齢者問題は解決しないし、というより厳しくなるなと思っています。

尚、この原稿は「障」ちゃんニュースを編集する1日前に書いたもので、日下さんの原稿を見て行き届かないところもあったと思います。本当は「コロナウィルスのせいで」パート2も書きたかったのですが、それは次回にまわしますので楽しみにお待ち下さいね。



Penko のおひとりさま  
珍道中!! (part 49)

最近、NHKのEテレの番組の内容がすごくおもしろくて、よく見るようになりました。

「きょうの料理」「きょうの料理ビギナーズ」「すてきにハンドメイド」「グレーテルのかまど」「美の壺」「クラシック音楽館」などなど。

「きょうの料理」は言わずと知れた長寿番組で、アナウンサーとのやり取りで、たまにだじゃれもあったりしてとてもおもしろいです。

「きょうの料理ビギナーズ」は「きょうの料理」のあとの5分間の番組で、高木ハツ江おばあちゃん（アニメ）のおっとりとしたかわいらしい語り口で料理を紹介してくれます。一人暮らしする前に体験場所などでこの番組がとても参考になりました。



「グレーテルのかまど」は月曜日の夜に放映されているお菓子作りの番組で、世界中のお菓子や人物にまつわるお菓子を紹介しながら、十五代ヘンゼルに扮する俳優の瀬戸康史さんがかまど（声：キムラ緑子さん）とやりとりしながら実際に作るという設定です。今まで知らな



かったお菓子がどんどん出てきて食べたくなります。そして瀬戸さんに癒やされています。

「クラシック音楽館」は日曜日の夜の2時間番組で、うとうとしながら月曜日に備えます。

そしてテレビ番組でもっともハマっているのは、日曜夕方の日テレ系長寿番組「笑点」です。54年続いていて、前半は演芸、後半は大喜利なのですが、特に大喜利では、メンバーのそれぞれのキャラが際立っていてすごくおもしろいです。色男・犯罪者、貧乏、おバカ、七光り、インテリ・司会者狙い、ものまね、他に大月と秩父の対決など。他に若手落語家の大喜利もBSでたまにやっています。立川志の輔さんのお弟子さんも出てきます。精神的に行き詰まった時によく見えています。

幼き頃、司会の三波伸介さんの時代から見えていました。BS日テレで週2回「なつかし版」というのをやっていて先代円楽さんと桂歌丸さんが司会だった頃のもので放映されているのですが、最近AmazonでDVDを買いまして、三波伸介さんが司会していた頃のものが見られるようになりました。

最近では、世の中の変化でリモート大喜利となり、お客さんの制限があったりでいまいち盛り上がり欠けるなあと思っています。やはりお客さんあつての笑点だなあと感じました。

それでも毎週録画して楽しんでいる今日この頃です。



## オンライン飲み会報告 & お知らせ

今さらながらですが、オンライン飲み会の報告をしたいと思います。ニュースやブログにてお知らせして来ましたが、報告というものを書いていないことに気がつき、本当に今さらですが、これまでの報告をさせていただきます。遅くなり申し訳ありませんでしたー。

というわけで、第一回から第三回までの報告をば。

第一回のテーマは「オススメの一冊」でした。参加者は 13 名で内県外からの参加もあり、久々に見る顔もちらほら。なかなか楽しいひと時を過ごす事ができました。テーマに沿って一人一人語ろうとはしましたが、なかなか zoom でのやり取りに慣れておらず、誰かが話しても、他の人が喋っていると聞こえないとか、途中いきなり回線が切れたのか退室する人など色々あり、でもどうにかほぼ全員話せたのではないかな？という感じでした。本ということで漫画だったり小説だったり、年代もバラバラで、各自思い思いの一冊を紹介できたのではないかと思います。自分の場合は、意気揚々と紹介しようとした本が、「それ知ってるー」って言われて嬉しいやら悲しいやらってという思いをしました（笑）

とまあそんなテーマに沿っての話しもしつつ雑談を交えながら時間は過ぎまして、21 時ごろには退出する人もちらほらと出てきて、最終的には 1 時くらいに終わりました。

第二回のテーマは「ハマっているもの」でした。参加者は 10 名くらいでした。やはり県外からの参加もあり、参加のしやすい企画であることの再確認ができました。（自分としてはですが）開催した日程的に夢宙人の長、武田さんのお誕生日が近かったので、長の誕生日を祝いつつ、メンバーが作ってくれた武田さんのメモリアルムービーを観つつこれまた楽しく面白いひと時だったではと思います。実は参加者のほとんどが自宅からが多いんですが、コンビニからという強者もあり、その点でも面白い時間となりました。また第一回とは違い、「本」というカテゴリーから外れたことにより、紹介の幅が広がりましたね、あれは。またまた雑談とか久々の人達の近況とかを聞きつ

つ時間は流れていきました。

第三回は「思い出の場所」でした。参加者は 8 名でした。三回まで来れば必ずと毎回参加してくれるメンバーも現れる！！いや別に皆勤でなくてはならないってことはないんですが、やはり時間を作って参加してくれるのは嬉しいものです。これこそ、日本だけではなく外国まで出まして、皆どこでも行ってるんだなあってというのが自分の率直な感想です。過ごしていれば自然と場所場所に記憶はできてくるもので、綺麗な話や泣ける話など色々ありました。夢宙人のイベントで行った場所などあげてくれる人もいて、なかなか嬉しかったです。そこから思い出話しにも華が咲きってことで、また盛り上がり。とかね（笑）

なんだかんだとテーマを決めつつも実は雑談の方が長い「オンライン飲み会」になっていますが、その雑談がまた面白かったりします。実際に会って飲み会した方が良いて思う人もいるかもしれませんが、オンラインも捨てたもんじゃないってというのが経験談です。

興味のある方は是非ともご参加ください。首を長くして待ってますんでー。

次回のお知らせは下記に。

日時	10月16日（金）19時から終わるまで
第四回のテーマ	「〇〇の秋」
アドレス	<a href="https://zoom.us/j/99626871005">https://zoom.us/j/99626871005</a>
ミーティングID	99626871005

※1 アプリは zoom を利用しています。使い方がわからない方がおられましたら、夢宙人メンバーにお問い合わせ下さい。

※2 今回はパスワードを設けませんでした。



## 運営会議報告 2020 年 8 月 18 日現在

### ● 障害者部会

今月末から障害者スタッフが 1 人増えます。

JR 新幹線の車椅子スペース等の座席を 1 車両にまとめるのは良くないとの意見がありました。

### ● 介助・介護派遣事業部

ザ・カイジョは 10 月 17 日（土）、18 日（日）、24 日（土）に行う予定です。

### ● レクリエーション部会

8 月 21 日（金）19 時からオンライン飲み会やります。

### ● 障ちゃんニュース発行部

印刷する日が確定していませんが、発送作業は来週から始める予定です。編集会議は、来週行います。

### ● まっち発行部

テーマは『新型コロナ感染症・後』としていますが、ニュース又は日常に対する不満や異論、未来に想いを馳せている事などを送って下さい。9 月末締め切り、10 月末発行です。

### ● 新型コロナウイルス感染症対策について

富山県医師会主催の研修に 2 名が参加したが、具体的な対策の情報は得られませんでした。今後もマスク着用、手指消毒の徹底と免疫力の維持・向上に努めましょう。

スタッフ、来客共々事務所に来られた際は、非接触型の体温計がありますので、検温して下さい。

### ● 次回の運営会議は、9 月 15 日（火）です。

報告者：荒戸



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

### ◎「ロービジョンケア講演会」

日 時：10月24日（土）15：00～16：00

場 所：富山国際会議場 2階多目的会議室 204号室

（富山市大手町1-2）

演 題：「視覚障害者に関わる年金について」

講 師：飯田 栄司氏（社労士オフィス・イイダ）

現在、射水市において、社労士オフィス・イイダ開業。

障害年金の請求支援を主として行っておられます。

ZOOMオンライン講演会同時開催（無料）

アドレス

<https://zoom.us/j/91671219744?pwd=YzFDV2RyUDUwL2hxMDVJZ1pLWE1DQT09>

ミーティングID：916 7121 9744 パスワード：151901

（開始10分前からログインできます。）

お問い合わせ先：視覚障害者ITサポートとやま（Bitsとやま）

TEL 090-2378-6944（担当：入江さん）

◎「ロービジョン相談・便利グッズの体験会」(完全予約制)

開催日：10月4日(日)・24日(土)・11月1日(日)・21日(土)

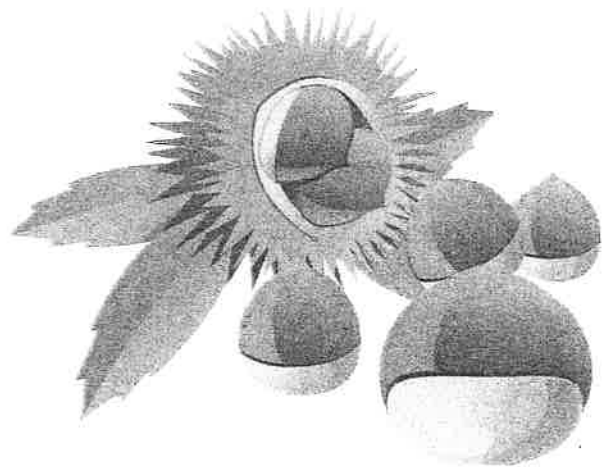
12月6日(日)・19日(土)・1月23日(土)

2月7日(日)・20日(土)・3月7日(日)・20日(土)

内 容：生活支援相談・拡大読書器、携帯型読書器やプレクストークなどの日常生活給付対象機器のご紹介・音声パソコン、iPad・iPhone 体験・ルーペや電子ルーペ・盲導犬導入相談・白杖の選択や歩行訓練・盲ろう相談・教育相談など

お問い合わせ先：視覚障害者ITサポートとやま(Bitsとやま)

TEL 090-2378-6944 (担当：入江さん)



## ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

9月になっても、今年は、暑い日が続いています。そして、台風が続いて9号10号と沖縄・九州地方を通り、朝鮮半島に行き、大きな被害が出たと言われています。

夏の暑さも高温になり、台風の大きさも巨大化して来ているように思います。

さて、季節はもう秋ですね。秋と言えば、読書の秋、食欲の秋です。好きな物を食べて夏の疲れを取りましょう。 〈アパッチ〉



### \*2020年度 新規会員・継続会員\*

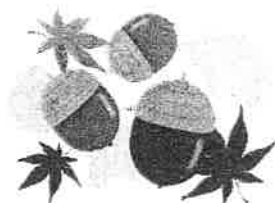
川原登喜のさま 堀田麻緒さま 松浦義和さま 徳見康子さま  
鈴木栄さま 銀納直人さま にぎやか(阪井)さま 河原井純子さま  
神山夕央さま 横山久恵さま 井上健太郎さま 内田すえのさま  
佐々木墨子さま 水島俊雄さま 富山正史さま 太田蓉子さま  
珍部千鳥さま 島崎真美・敬悟さま 野澤美代子さま 椎恵子さま  
利光恵子さま

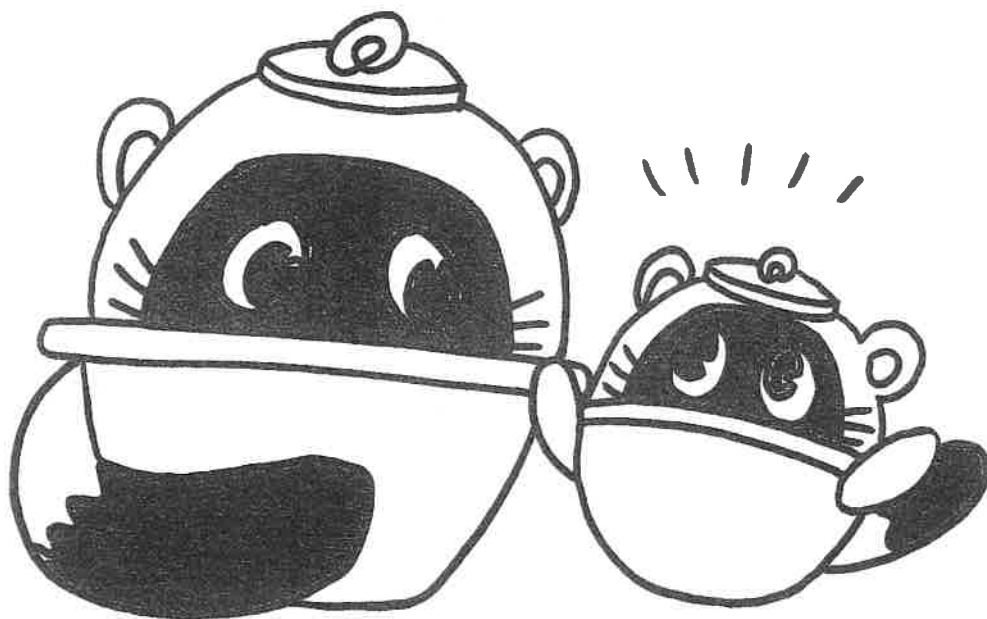
### \*カンパ\*

徳見康子さま

### \*物品提供\*

フードバンクさま 下伏玲子さま さくら苑さま 升谷千春さま





発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。